

新庁舎建設基本計画（案）市民説明会（竹松地区）

開催日時	平成 30 年 5 月 15 日（火） 19 時 00 分～20 時 50 分
会場	竹松住民センター大会議室
参加者	31 人

質問事項や意見とその意見に対する考え方

（ご意見の一部については、趣旨を損なわない範囲で要約させていただきました。）

No.	質疑・意見の要旨	回答及び意見に対する考え方
1	<p>建設費が増え、工期が遅くなり、交付税措置額も減っており、計画が大きく狂っていることから、もう一度白紙に戻して、建設場所から考え直す必要があるのではないか。現地周辺は交通が不便で、交差点の右折に時間がかかる。もう一度市民の意見を聴いて考えてもらいたい。</p> <p>基本計画（案）については賛同するが、別の場所に建ててもらいたい。</p>	<p>建設場所については、現地周辺とした理由を根底から覆すようなものがあれば検討の必要があると考えていますが、現時点では、現地周辺が他の場所より優位性があると考えています。</p> <p>なお、他の場所における優位性の検討についてもご意見として賜ります。</p>
2	<p>この 10 年で、竹松地区の人口は 2 万 4 千人、西大村地区の人口は 3 万人で、市の人口の約 6 割で、これらの地区に人口が集まり、住宅事情も変わってきている。また、現庁舎前交差点の交通渋滞を考えれば、現地周辺に庁舎を建てる意味が分からず、その説得力もない。</p> <p>現地周辺に庁舎がある必要はないので、もう一回原点に戻って場所から考えてもらいたい。</p>	<p>場所の選定については、まず候補地として 28 か所を選定し、その中から「安全性」、「利便性」、「経済性」、「早期実現性」の 4 つの観点から、6 か所に絞り込み、最終的に、現地周辺と決定しました。</p> <p>候補地の中には、「古賀島スポーツ広場」、「新幹線新駅周辺」、「ろう学校」もありましたが、検討の中で断念しました。</p> <p>なお、現地周辺においては、大村地区も人口が増えており、木場スマートインターチェンジの開通や国道 34 号の 4 車線化により、宅地開発の進展が考えられます。</p>
3	<p>市長の公約では、ろう学校を再利用して庁舎を建設するとしていたはずだが、現地周辺と場所を変えれば、一貫性がない。また、金額的にも建設費 100 億、交付税措置額 4.7 億円となり、当初と大きく違っており、市政不信を感じるので、白紙に戻すべきである。</p>	<p>過去の市長選で負けたときの公約では、ろう学校の建物をそのまま使って市役所を移転させるとしていました。その後、市議になって再度提案しましたが、その案に賛同する声が少ないため、考えを変えました。なお、市長になったときの公約は、ろう学校跡地かシーハットの駐車場としていました。早期の庁舎建設を検討していく中で、現地周辺が最適な場所と判断しました。</p>

No.	質疑・意見の要旨	回答及び意見に対する考え方
	<p>基本計画策定における議会の承認はどうなっているのか。</p>	<p>議会の承認については、昨年6月の議会で基本計画策定に係る予算の議決を得ています。</p> <p>今後の基本設計、実施設計に係る予算については、議会に上程し、その判断を仰ぐ形となります。なお、上程時期については、内部で議論をしている段階です。</p>
	<p>交付税措置額が18億円交付されないことも、始めから分かっていたのではないか。</p>	<p>交付税措置額については、平成25年に試算した建設費を基に、昨年6月時点では全体費の22.5%に当たる18億円としていました。その後、国、県とやり取りをし、12月に対象となる建物等が判明しましたが、議会や市民への説明については、明確に積算根拠を示す必要があることから、その時点では規模等の詳細なものを出せませんでした。その後作業を進め、3月になって、概算事業費を算出できました。</p> <p>最初から分かっていたのではなく、国や県からの条件を照らし合わせた結果、数字が出たということなので、ご理解いただきたいと思います。</p>
4	<p>交付税措置額18億円が4.7億円ということだが、4.7億円は確実なのか。</p>	<p>建設費100億円とした場合に、交付税措置額は4.7億円と試算しています。</p> <p>この事業は、平成32年度までの期限ですが、本市としても県市長会を通じ期限の延長を国に要望しています。期限が延長されれば、対象額が増えるので、できるだけ多くの財源を確保できるよう努めたいと考えています。</p>

No.	質疑・意見の要旨	回答及び意見に対する考え方
5	<p>平成 32 年度の竣工が間に合わないのか。交付税措置の対象事業に係る時限措置の延長について、国に要望できないのか。</p>	<p>交付税を最大限活用するために、平成 33 年 3 月の竣工を目指していましたが、市民の皆さんの意見を聴いたり、議会からも慎重に検討すべきとの意見があったこともあり、基本設計の案が完成した段階で、市民の意見を聴きながら進めたいと判断し、期間を延ばしました。</p> <p>交付税措置額については、対象が本館と別館のみであると分かったため、減少となりましたが、国の事業が延長されれば、最大で 11.7 億円の交付があると考えているので、国に対し期限の延長をお願いしたいと考えています。</p>
	<p>市庁舎だけではなく、市民会館事業についても合わせて進めていただきたい。</p>	<p>市民会館のみならず、今後他の公共施設の建替えなどがあるので、多くの財源が確保できるよう最大限努力し、他の施設事業にも対応できるよう努めたいと考えています。</p>
6	<p>現地周辺は埋立地であり、液状化のおそれがあるのではないのか。</p>	<p>新しい県庁も同様に埋立地であり、液状化対策の工法等で対応されています。本市も必要があれば、同様の対応をとるので問題ないと考えています。なお、市内全域が扇状地で液状化の危険性があります。埋立地だから危険性が高いということではなく、十分な対策を考えていきます。</p>
	<p>震度 6 強以上の地震がくるのも疑問である。</p>	<p>平成 28 年に、従来から地震確率の低かった熊本で大きな地震が起こり、いつ地震が起こるか分からない状況です。</p>
7	<p>新庁舎をポート場第 5 駐車場に建設した場合、シーハットや野球場でのイベント時の駐車場はどうなるのか。</p>	<p>配置構成については、設計段階で決定していきますが、第 5 駐車場に新庁舎を建設し、現庁舎を解体して駐車場とするので、基本的には変わらないと考えています。</p>
	<p>シーハットへの連絡通路を確保してほしい。</p>	<p>シーハットとの通路についても、検討をしていきたいと考えています。</p>

No.	質疑・意見の要旨	回答及び意見に対する考え方
8	<p>新庁舎は、デザインにこだわらず、分かりにくくならないように、シンプルで使いやすい設計にしてほしい。</p>	<p>華美にならないようにしたいと考えています。</p>
9	<p>現在職員の何人が自家用車通勤しているのかを把握しているのか。</p>	<p>ボート場に停めている駐車台数は約500台です。基本計画（案）で想定している駐車台数225台は来庁者用を想定しています。まずは、来庁者用駐車場を優先的に考えています。</p> <p>職員用については、建築面積がどれくらいになるのか現時点は不明ですが、第5駐車場の余った敷地や周辺市有地で利用できればと考えています。</p>
10	<p>駐車場が混雑する時間帯は、交通誘導員を活用して、交通整理を実施してはどうか。</p>	<p>駐車場については、周辺施設の利用状況を踏まえた運用を考えていきます。</p>
11	<p>市役所に行かないで済むように、出張所で業務処理ができるようにしてほしい。</p>	<p>将来のIT機能等を踏まえながら、こういった役所機能にしていくかを考えていきます。</p>